

都市再生整備計画 事後評価シート
三次地区


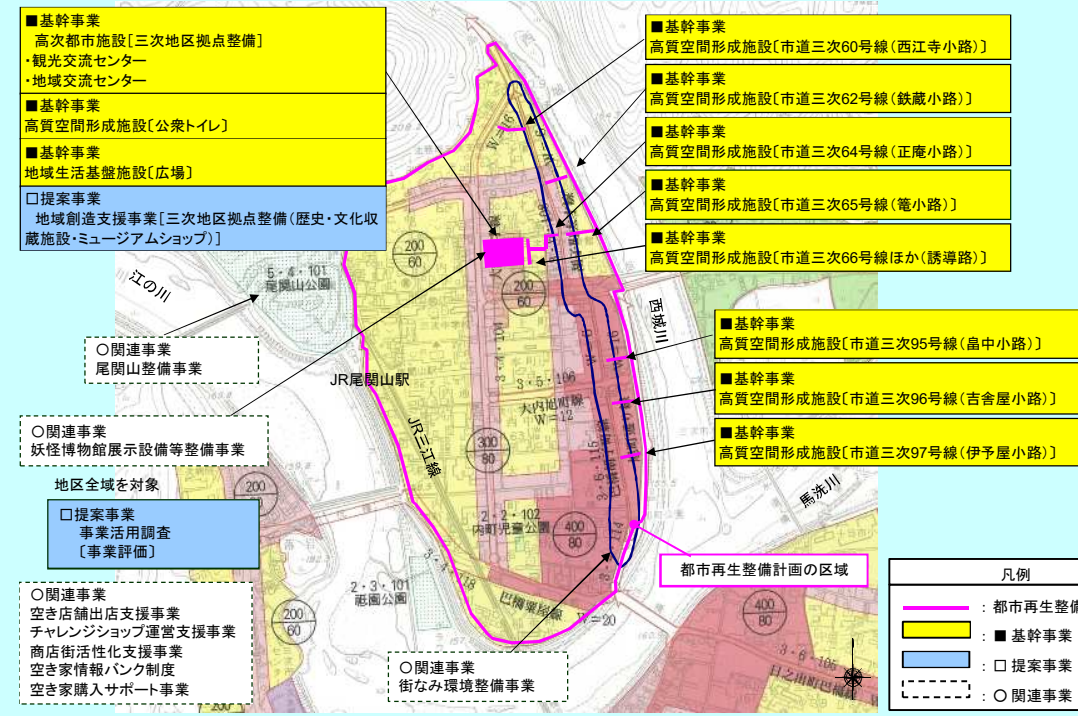



令和3年 3月

広島県 三次市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県		市町村名	三次市		地区名	三次地区			面積	63ha		
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	898百万円	国費率	0.227				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 高質空間形成施設(市道三次60号線(西江寺小路)、市道三次62号線(鉄蔵小路)、市道三次64号線(正庵小路)、市道三次65号線(菟小路)、市道三次95号線(畠中小路)、市道三次96号線(吉舎屋小路)、市道三次97号線(伊予屋小路))/高次都市施設(観光交流センター(三次地区拠点施設)、地域交流センター(三次地区拠点施設))										
		提案事業	地域創造支援事業(三次地区拠点施設(歴史・文化収蔵施設))/事後評価業務委託										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(市道三次38号線)			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	地域創造支援事業 三次地区拠点施設(レンタサイクル)			・令和2年8月(第4回変更)に計画変更して削除 ・令和元年12月(第3回変更)に計画変更して削除			- -				
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設 市道三次66号線(誘導路) 高質空間形成施設 公衆トイレ 地域生活基盤施設 広場			・施設整備に伴い、拠点施設・商店街双方への誘導路が必要となり、平成29年8月(第1回変更)に追加 ・拠点施設周辺の利便性向上の為、平成29年8月(第1回変更)に公衆トイレ及び広場整備を追加			・歩行者数及び入館者数の指標に関連し、周辺交通量を加味した目標値に修正				
提案事業		地域創造支援事業 三次地区拠点施設(歴史・文化収蔵施設・ミュージアムショップ)			・拠点施設周辺の利便性向上の為、平成29年8月(第1回変更)にミュージアムショップを追加			・歩行者数及び入館者数の指標に関連し、周辺交通量を加味した目標値に修正					
交付期間の変更	当初	平成28年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	歩行者数(自転車含む)	人/年	247,738	H27	307,738	R2		215,958	×	あり なし	評価年では新型コロナウイルスの影響だけでなく、三次地区拠点施設等への来訪者が本通りへ回避する為の情報提供等が十分でなかったことが要因となり、目標値を達成しなかったと考えられる。	-
	指標2	来訪者の満足度	%	68.1	H27	79.4	R2		89.3	○	あり なし	観光客の立ち寄り施設や小路整備等の散策時の見どころが増加したことで、来訪者の満足度が向上したと考えられる。	-
	指標3	三次本通商店街の空き店舗率	%	12.5	H27	5.35	R2		5.35	○	あり なし	観光客や地域住民の来訪者数増加による賑わいの向上に伴い、店舗立地への期待が高まったことや、関連事業で空き店舗への出店を支援したことなどにより、空き店舗率は改善したと考えられる。	-
	指標4	三次地区拠点施設の入館者数	人/年	0	H28	120,000	R2	141,769 (R元.4～R2.3)	40,157 (R2.4～R3.3)	×	あり なし	評価年では新型コロナウイルスの影響により、入館者数は目標値を達成しなかったが、整備当初の入館者数は目標値を上回るほどであったとともに、地域イベントの開催等も相まって、三次地区の賑わい創出に大きく貢献したと考えられる。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	三次町街なみ整備助成事業の実績件数	件	36	H28				52			三次町街なみ整備助成事業の継続的な実施や小路整備、三次地区拠点施設の整備、街なみ環境整備事業などによる効果が発現し、街なみ形成と観光が連携したまちづくりを実現しつつある。そうした地域全体の雰囲気から、地域住民の景観に対する意識が向上し、街なみ整備助成事業の実績件数が増加したと考えられる。	-
	その他の数値指標2	辻村寿三郎人形館の入館者数	人/年	10,482	H28			7,651 (R元.4～R2.3)	3,780 (R2.4～R3.3)			評価年では新型コロナウイルスの影響により入館者数は大きく減少したが、三次地区拠点施設のオープン当初は、前年と比べ増加しており、三次地区拠点施設の整備が周辺の観光施設への入館者数増加等、三次地区全体の回遊性の向上に寄与していると考えられる。	-
	その他の数値指標3	三次地区文化・観光まちづくり交流館の利用者数	人/年	0	H28			16,874 (R元.4～R2.3)	4,735 (R2.4～R3.3)			評価年では新型コロナウイルスの影響により利用者数は大きく減少したが、三次地区拠点施設の整備当初は、施設の入館者と同様の傾向を示しており、観光客と地域住民の交流の場として十分に活用されていたと考えられる。	-
	その他の数値指標4	三次町への観光率	%	24.2	H30				26.0			三次地区拠点施設の整備により広域的な来訪者の誘引や、駐車場の整備による観光客の受け入れ体制が向上したことで、三次町への観光率が向上したと考えられる。	-
その他の数値指標5	新型コロナウイルスの影響を受けなかった場合に想定される三次地区拠点施設の入館者数	人/年	0	H28				155,494 (R2.4～R3.3)			新型コロナウイルスによる影響を受けなかった場合の入館者数を推計すると、令和2年度は目標値を満たすほどの入館者が訪れたことが想定された。	-	
4) 定性的な効果発現状況	・三次地区拠点施設内(三次地区文化・観光まちづくり交流館)に一般社団法人みよし観光まちづくり機構の事務局が入居したことにより、情報発信やイベント開催などを円滑に行うことができた。 ・地域生活基盤施設(広場やステージ等)の整備により、イベント等に地域住民が積極的に参加するための基盤ができ、地域のイベント等を開催する動きが生まれつつある。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	三次地区拠点施設の整備による影響を把握するためのモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	モニタリング同様の計測方法で実施する。	
	住民参加プロセス	小路整備の工事説明会を開催 / 日本妖怪博物館等を生かした文化・観光振興に関する市民委員会を設置・開催 / 三次地区拠点施設を核とした三次まるごと博物館事業に関する説明会を開催 / 三次地区拠点整備事業に関する住民説明会(進捗状況等)を開催 / 三次地区拠点整備事業に関する住民説明会(工事概要等)を開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	市民委員会では、引き続き提案事項の実施を検討・調整していく。また、説明会の時点において、参加者からのアンケートでは「キャラクターの開発・商品化」が最も多くの意見を占めているなど、引き続き開発したキャラクターを活用した取組を進めるとともに、三次まるごと博物館の新たな展開を検討・調整する。	
持続的なまちづくり体制の構築	三次地区の文化・観光まちづくりを進める会の活動状況を確認				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	比熊山登山道の整備について、広島県森づくり事業への要望を行い、令和2年度から2年間の事業として採択されており、継続して三次地区全体の魅力向上に努める。		

様式2-2 地区の概要

三次地区 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：訪れるたびに発見する魅力!!みんなで創る「新三次“蒲”物語」～住む人が誇りをもち、訪れる人が心癒されるまち～ 目標1：来訪者が美しい自然や歴史的なまちなみを楽しむための環境整備 目標2：来訪者回遊性向上のための歴史的なまちなみを活かした市街地整備 目標3：地域住民と観光客の交流促進を図るための拠点整備	歩行者数(自転車含む)	単位：人/年	247,738	H27	307,738	R2	215,958	R2
	来訪者の満足度	単位：%	68.1	H27	79.4	R2	89.3	R2
	三次本通商店街の空き店舗率	単位：%	12.5	H27	5.35	R2	5.35	R2
	三次地区拠点施設の入館者数	単位：人/年	0	H28	120,000	R2	40,157	R2
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>▼基幹事業 [地域生活基盤施設(広場)]</p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>都市再生整備計画の区域</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ：都市再生整備計画の区域 ：■ 基幹事業 ：□ 提案事業 ：○ 関連事業 </div> <div style="width: 20%;"> <p>▼基幹事業 高質空間形成施設 [市道三次95号線(畠中小路)]</p>  <p>▼基幹事業 高質空間形成施設 [市道三次66号線ほか(誘導路)]</p>  </div> </div>								
<p>▼基幹事業 [高次都市施設(三次地区拠点施設)]</p> 								
<p>まちの課題の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次地区拠点施設(観光交流施設やミュージアムショップ、広場、トイレ等)の整備により、三次地区全体の魅力が高まり、観光客の満足度が向上するなど、三次地区の賑わいが創出された。さらに、駐車場や休憩施設、イベント等の開催箇所等も併せて整備を行い、観光客の受け入れ体制が向上したことで、三次地区の拠点性や集客性が向上した。加えて、本通りの小路整備等により、三次地区の歴史的な街なみを生かした景観が整備され、三次地区の魅力が高まったことで、空き店舗が減少し立ち寄り施設が増加するなど、観光客の回遊性向上に寄与した。 ・しかしながら、更なる賑わいの創出のためには、情報発信の強化による三次地区の集客性の向上やインターチェンジ等からの広域的な観光客の誘導などが必要である。また、三次地区拠点施設の来訪者が本通りへの回遊に繋がっていない状況であり、三次地区の回遊性向上の取組が必要である。 ・また、本事業においては、新型コロナウイルス等の影響を大きく受けている状況であり、今後も地域の活性化及び観光客の利便性・快適性等の向上の為に、新しい生活様式に基づいたイベントの開催等による定期的な集客を行い、三次地区への来訪者数の増加に努める必要がある。 								
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次地区の歴史的な街なみを維持するために、関連事業による街なみの整備や街なみ環境整備事業(修景)による地域住民と一体となった景観整備など、今後も継続して景観向上の取組を実施する。 ・本通りの魅力を高め、三次地区全体の賑わいを維持するために、空き店舗減少の取組として関連事業の継続的な実施を行う。 ・三次地区拠点施設の拠点性・回遊性を向上し、コロナ禍での観光客の減少を抑制するために、三次地区拠点施設へ設置した情報提供スペース内での継続的な情報発信や観光客に対して三次の魅力を提供するなど、情報発信を強化する。 ・三次地区拠点施設の来訪者を本通りへ回遊させるために、十分な情報提供や本通り周辺での周遊スポットの設置、継続的なイベント開催などの興味・関心を引く取組を行う。 ・インターチェンジ等から三次地区へ広域的な観光客等を誘導するために、分かりやすい情報発信等を行う。 								